

## 静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2019-19 慢性潰瘍、壊疽に対する診療に関する観察研究
当院の実施責任者研究 及び職名	静岡赤十字病院 血管外科 部長 新谷 恒弘 静岡赤十字病院 形成外科 部長 鈴木 沙知
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
研究期間（西暦）	研究実施許可日（倫理審査結果通知書発行日）より西暦 2025 年 3 月 31 日まで（状況により、適宜延長を検討する）
研究の目的	<p>難治性の皮膚潰瘍には、糖尿病性潰瘍、虚血性潰瘍、静脈性潰瘍、膠原病に伴う潰瘍などがあります。近年、糖尿病、慢性透析に伴う足の慢性潰瘍、壊疽が増加している。創傷治癒を得るためには、壊死組織のデブリードメントや潰瘍に対する適切な局所処置、抗生剤による感染の制御により、肉芽を増殖させる必要がある。症例に応じて、陰圧閉鎖療法、皮膚移植、広範囲の組織欠損に対しては皮弁、筋皮弁移植が必要になります。創傷治癒後も、再発予防のためにフットケアが重要となります。</p> <p>しかし、これらの治療については、その有効性や成績が未だ十分に評価されていない。慢性潰瘍、壊疽に対する標準的診断、治療方法の確立のために、データを集積、解析して、これらの妥当性・有効性を検証することは急務であり、研究機関の使命であると考えます。</p>
研究の内容	静岡赤十字病院にて経験した慢性潰瘍、壊疽に対する診療について、後向き観察研究を行うことで疾患の特徴を明らかにし、慢性潰瘍、壊疽に対する標準的診療の確立を目指す。

<p>個人情報の取扱い</p>	<p>本研究で得られるデータを、当該研究課題の範囲外で使用する可能性、当該研究の研究従事者以外が使用する可能性はない。</p> <p>本研究により得られた匿名化された個人データは当施設では担当責任者新谷が保管する。本研究の終了5年後まで保存するが、廃棄にあたっては外部記憶装置に保存された個人データは全て消去し、記録文書やメモ類は全てシュレッダーで粉砕処理する。解析に用いるコンピューターにはデータが漏洩する危険を回避するために適切な対策（最新版のウィルス対策ソフトウェアのインストール）を行う。</p>
<p>問い合わせ先 (拒否等受付窓口)</p>	<p><b>【研究担当者】</b>          所属：静岡赤十字病院 血管外科 / 形成外科          氏名：新谷 恒弘 / 鈴木 沙知          住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2          電話：054-254-4311</p>